

# 市立ひらかた病院の現状と 令和7年度の取り組みについて

1. 市立ひらかた病院の概要
2. 令和6年度の事業実績等
3. 令和7年度の取り組み



# Ⅰ. 市立ひらかた病院の概要

## ◆市立ひらかた病院の役割

北河内二次医療圏における唯一の公立病院として、「心のかよう医療を行い、信頼される病院」を基本理念とし、患者の立場に立った質の高い医療の提供や、救急医療・小児医療などの政策医療の役割を担い、地域医療に貢献する。

昭和25年からの歴史を経て、平成26年9月に新築7階建て新たに開院。

## ◆主要業務

外来診療科目：24科（月～金 午前8時15分～11時30分）

内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、小児科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、形成外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科、精神科

入院許可病床数：335床（一般病床327・感染症病床8）

令和6年8月末までは、人員不足等により6西病棟47床と4西病棟35床の合計82床を休棟していたが、9月1日からは4西病棟（小児科）35床を再開棟。

救急：24時間365日対応（救急科、小児科）

人間ドック、脳ドック（月～金）

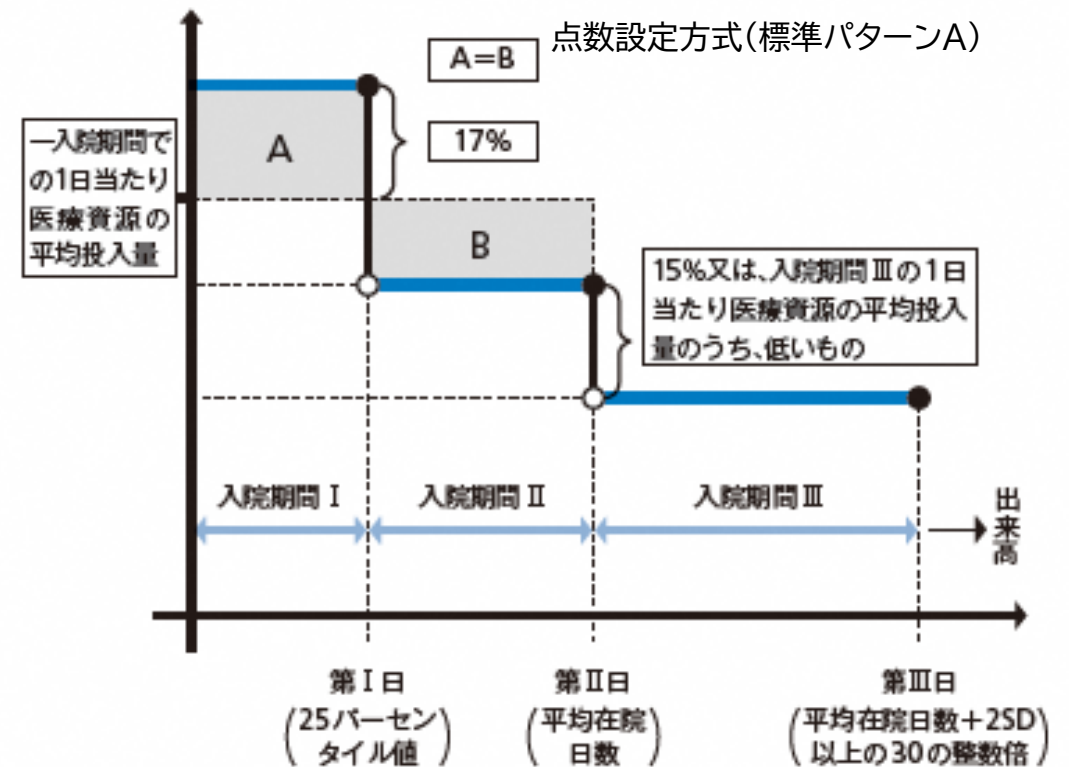
## 府の病院分類では「急性期病院」に区分

本院は、地域で高度な医療を支える病院として、専門的な手術の提供や、休日・夜間を含めた二次医療圏の救急患者の受入を中心に担う急性期病院であるとともに、北河内医療圏域で唯一の公立の総合病院として不採算とされる政策医療についても担っており、自治体病院としての役割を果たすため、日々、医療水準の向上に努めている。

## 包括払い方式となるDPC対象病院

DPCとは「診断群分類別包括評価支払方式」の略で、従来の出来高払方式とは異なり、患者の病名や治療内容、また入院日数などによって定められた1日あたりの定額の点数を基本に医療費を計算する方法で、特に、入院日数については平均在院日数を基に3段階に区分されており、入院初期が重点的に評価されている。

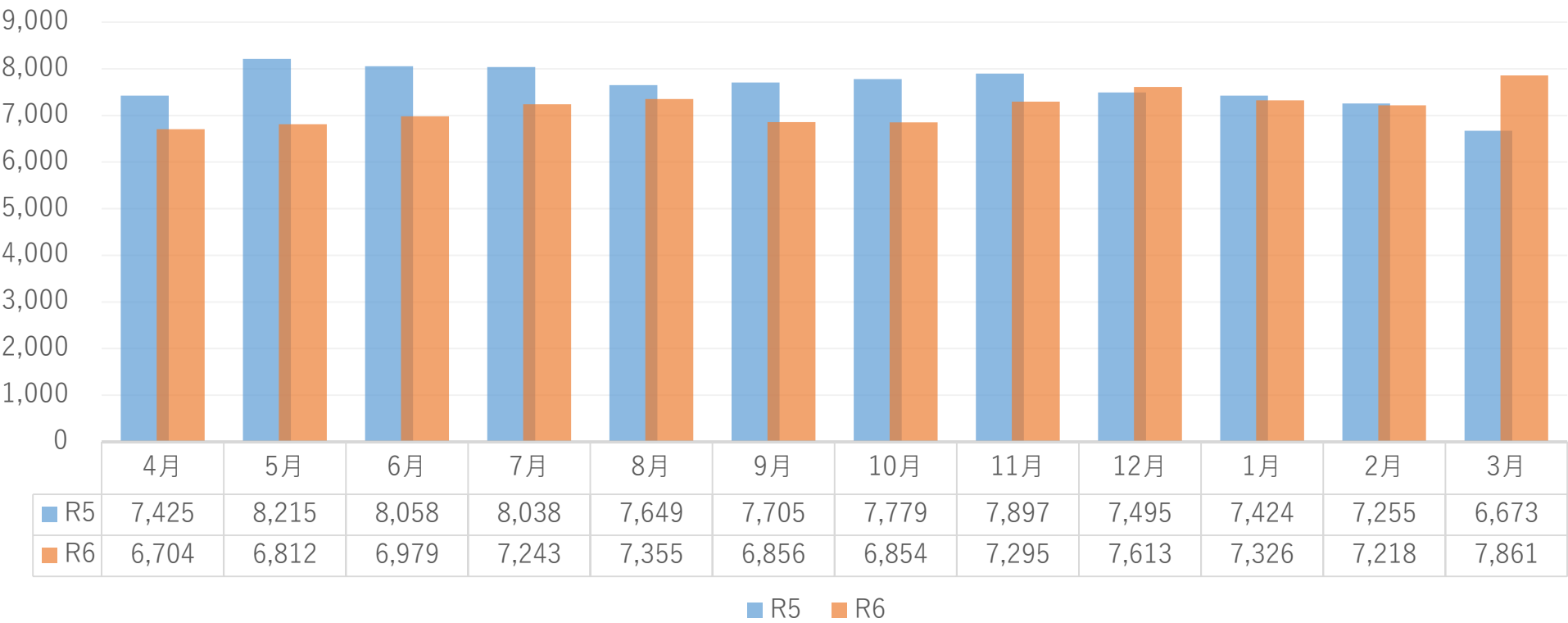
なおDPC方式は、全ての診療行為が包括されているわけではなく出来高で算定するものも多数あるため、包括部分と出来高部分を組み合わせて請求を行う。



## 2. 令和6年度の事業実績等

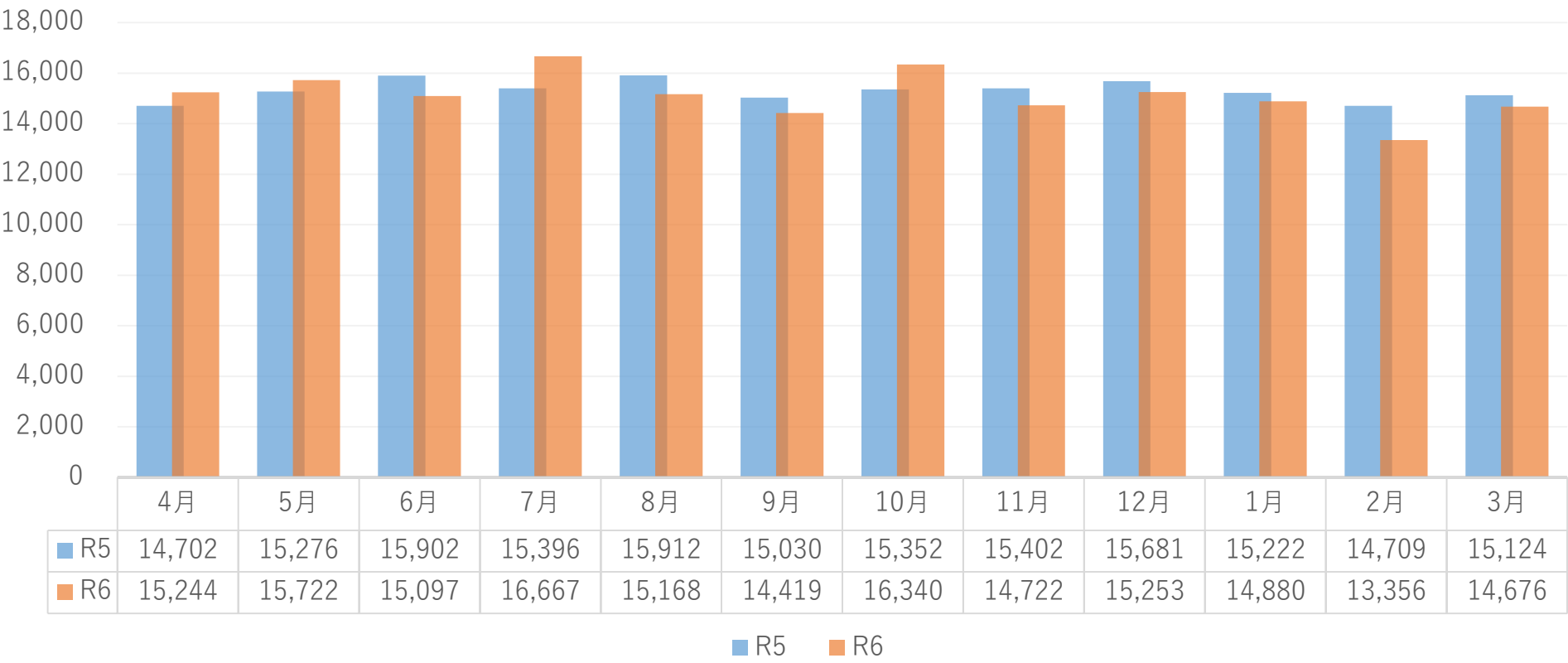
◆入院患者数状況 延べ86,116人(1日平均235.9人)  
⇒休棟が影響し、前年度比で5,497人減

月別入院患者数



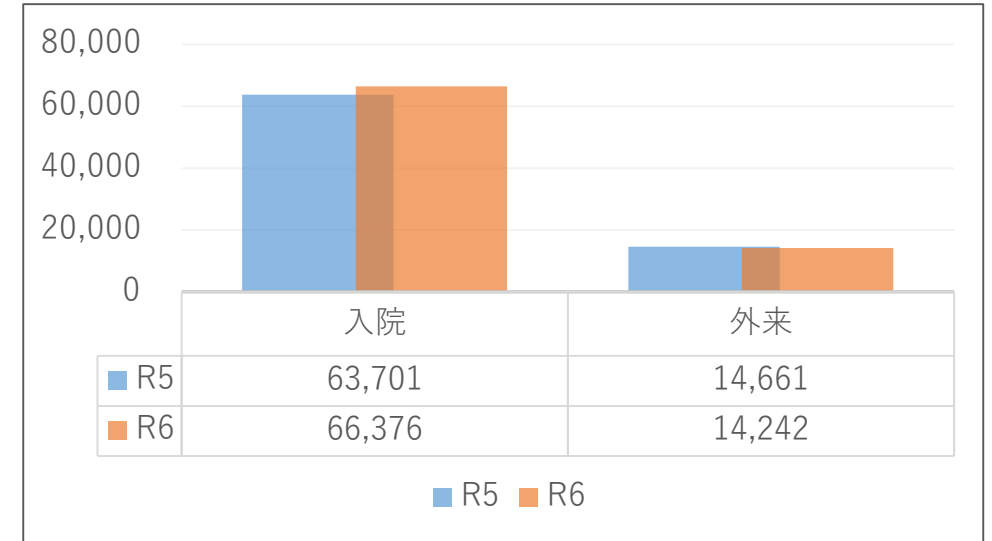
◆外来患者数状況 延べ181,544人(1日平均736.9人)  
⇒全体的に減少傾向となり、前年度比で2,164人減

月別外来患者数



## ◆診療単価

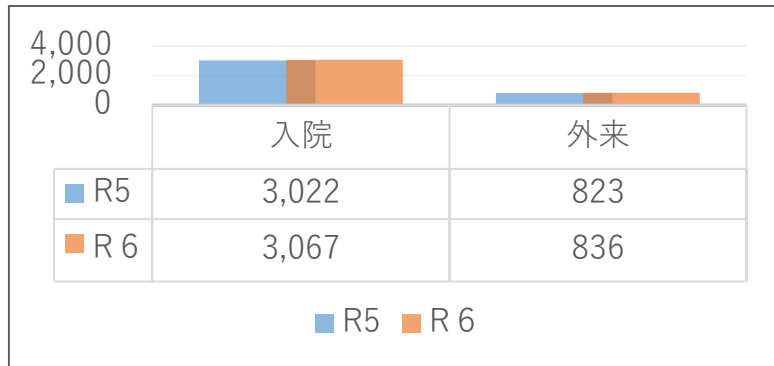
入院 66,376円  
(前年度比で2,675円増)  
外来 14,242円  
(前年度比で419円減)



## ◆病床稼働率 88.9%

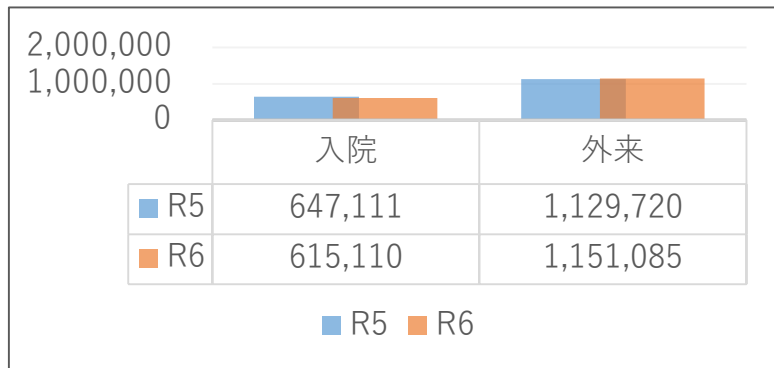
一般病床に対する率。令和 6 年 4 月から 8 月は 245 床、9 月から 3 月は 280 床で算出。

◆手術件数 合計3,903件  
(前年度比で58件増)



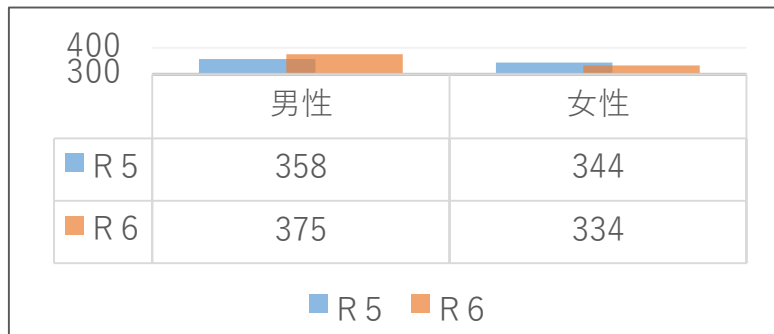
※手術室での実施件数

◆検査件数 合計1,766,195件  
(前年度比で10,636件減)



※中央検査室での件数

◆人間ドック件数 合計709件  
(前年度比で7件増)



利  
用  
状  
況

K P I と K P I 達成のための取組指標等 (令和 6 年度分)

「○」 達成 「●」 未達成

|                          | 指標                                            | 目標値                                                | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 累計値<br>(※)平均値 |
|--------------------------|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|
| K P I                    | DPC期間Ⅱ超え率                                     | 30%以下                                              | 27.4%  | 29.0%  | 30.6%  | 32.9%  | 29.9%  | 29.3%  | 35.4%  | 35.0%  | 30.3%  | 29.8%  | 32.4%  | 33.4%  | 31.6%         |
|                          |                                               |                                                    | ○      | ○      | ●      | ●      | ○      | ○      | ●      | ●      | ●      | ○      | ●      | ●      | ●             |
|                          | 稼働病床<br>(4～8月：253床)<br>(9月以降：288床)<br>に対する利用率 | 4～8月：93%<br>(235床／253床)<br>9月以降：86%<br>(248床／288床) | 88.3%  | 86.8%  | 91.9%  | 92.3%  | 93.8%  | 79.4%  | 76.8%  | 84.4%  | 85.3%  | 82.1%  | 89.5%  | 88.0%  | 86.3%         |
|                          |                                               |                                                    | 223.5床 | 219.7床 | 232.6床 | 233.6床 | 237.3床 | 228.5床 | 221.1床 | 243.2床 | 245.6床 | 236.3床 | 257.8床 | 253.6床 | 236.1床        |
| 取組指標                     | 新紹介件数<br>(※)                                  | 820件以上                                             | 867件   | 875件   | 849件   | 844件   | 755件   | 735件   | 896件   | 794件   | 772件   | 754件   | 708件   | 839件   | 807件          |
|                          |                                               |                                                    | ○      | ○      | ○      | ○      | ●      | ●      | ○      | ●      | ●      | ●      | ●      | ○      | ●             |
|                          | 救急応需率                                         | 90%以上                                              | 88.3%  | 89.7%  | 88.3%  | 85.9%  | 86.6%  | 87.8%  | 86.7%  | 87.4%  | 85.6%  | 83.6%  | 86.5%  | 85.0%  | 86.7%         |
|                          |                                               |                                                    | ●      | ●      | ●      | ●      | ●      | ●      | ●      | ●      | ●      | ●      | ●      | ●      | ●             |
|                          | 手術件数<br>(※)                                   | 340件以上                                             | 288件   | 315件   | 336件   | 343件   | 326件   | 307件   | 348件   | 340件   | 330件   | 318件   | 306件   | 346件   | 325件          |
|                          |                                               |                                                    | ●      | ●      | ●      | ○      | ●      | ●      | ○      | ○      | ●      | ●      | ●      | ○      | ●             |
| 病 床 利 用 率<br>(許可病床：335床) |                                               |                                                    | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 累計値           |
|                          |                                               |                                                    | 66.7%  | 65.6%  | 69.4%  | 69.7%  | 70.8%  | 68.2%  | 66.0%  | 72.6%  | 73.3%  | 70.5%  | 77.0%  | 75.7%  | 70.4%         |

### 3. 令和7年度の取り組み

# 多層的な課題に直面する中、更なる経営改善策を推進

- ・ 6階西病棟47床が未だ休棟中
- ・ 診療報酬改定が経費増に比例せず、当初予算で純損失7億円を想定
- ・ 適時調査の結果、診療報酬約3億2千万円の返還が必要

## ◆収入増加・確保対策

- ・ 急性期病院として後方支援病院（回復期・慢性期病院など）との連携強化を図り、入退院期間の適正化・入院単価の向上に取り組む。
- ・ 入院期間適正化を推進しても空きベッドが生じないように、積極的に入院患者を受け入れて入院患者増を図る。

両立が診療単価の向上に重要

急性期病院としての入退院期間の適正化



積極的受け入れによる稼働病床率の向上

## ◆経費削減・抑制対策

- ・ 委託業務の見直しや効率的な医療機器の更新・医療材料の調達を推進する

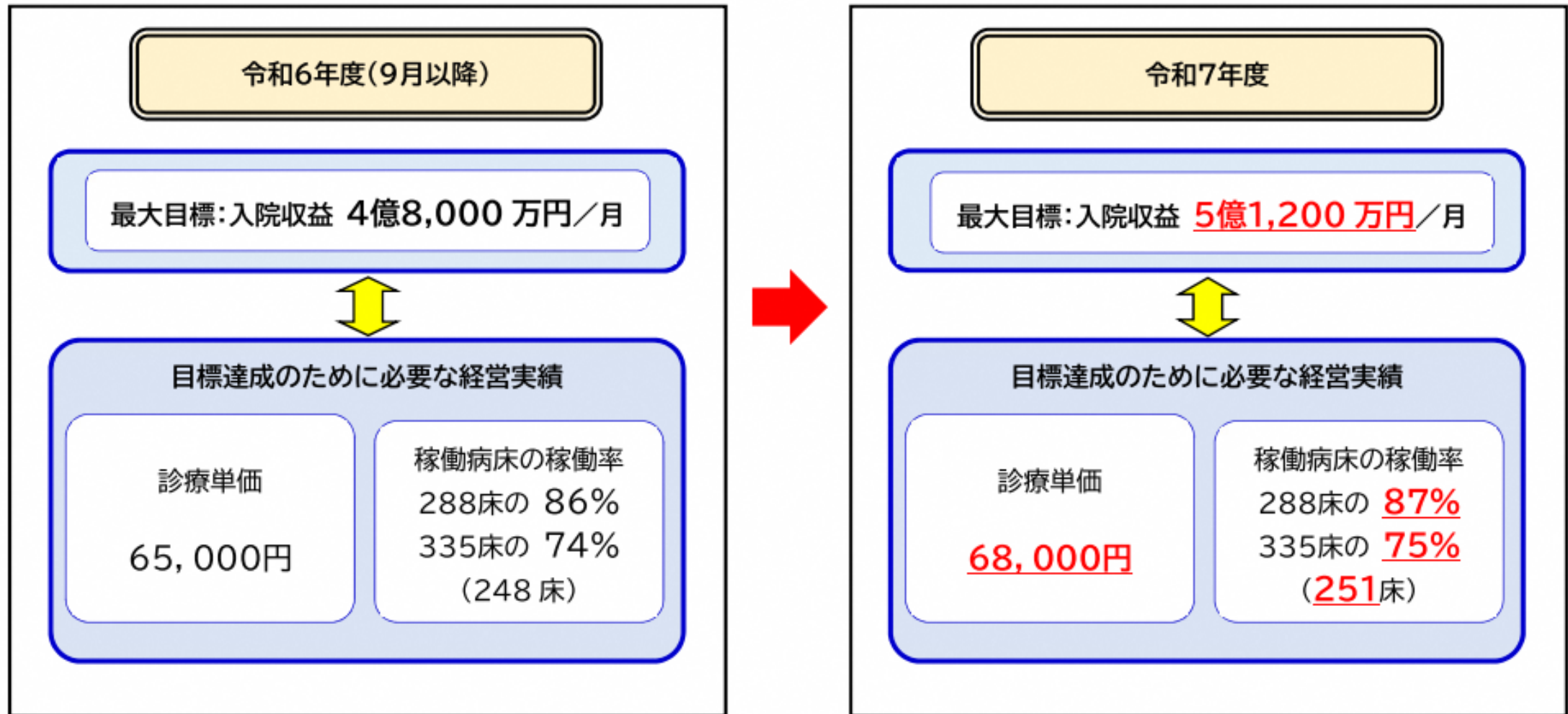
## ◆人材確保・育成

- ・ 看護師確保に向けた様々な取り組みを実施し、全病床開棟に向け体制を整備する。

# 経営目標と取組指標

# 令和7年度の経営目標

きわめて厳しい経営状況となることが予想される状況を踏まえ、診療報酬の増加を目指し、以下の目標数値を設定。



# 経営目標達成に向けたKPIと取組指標

|                       | 令和6年度（9月以降） |                                            | 令和7年度     |                                                                       |
|-----------------------|-------------|--------------------------------------------|-----------|-----------------------------------------------------------------------|
|                       | 項目          | 病院全体                                       | 項目        | 病院全体                                                                  |
| KPI                   | DPC期間Ⅱ超え率   | 30%以内                                      | DPC期間Ⅱ超え率 | 30%以内                                                                 |
|                       | 病床稼働率       | 稼働病床の利用率<br>288床の86%<br>335床の74%<br>(248床) | 病床稼働率     | 稼働病床の利用率<br>288床の <u>87</u> %<br>335床の <u>75</u> %<br>( <u>251</u> 床) |
| KPI達成<br>のための<br>取組指標 | 紹介患者数       | 820件<br>※強化プラン件数                           | 紹介患者数     | <u>825</u> 件<br>※強化プラン件数                                              |
|                       | 救急応需率       | 90%                                        | 救急応需率     | 90%                                                                   |
|                       | 手術件数        | 340件                                       | 手術件数      | 340件                                                                  |

# 重点的な取り組み

# 経営改善に向けた取り組みの実践

## ◆ 「経営強化プラン（第3次中期経営計画）」の中間見直し

経営改善の取り組みの進捗状況を確認するとともに、今後解決すべき課題等を見える化するため、令和5年3月に策定した「市立ひらかた病院経営強化プラン（第3次中期経営計画）」の中間見直しを行う。

計画の見直しにあたっては、病院事業運営審議委員会の具申を求めつつ、地域医療支援病院運営委員会や総務省によるアドバイザー派遣を活用し、計画策定を待たずとも取り組める事項については、迅速な対応を行っていく。

## ◆ 地域連携のさらなる推進

紹介率及び逆紹介率の向上を図るため、地域の医療機関からの患者の受入れを積極的に行うとともに、医療機関への訪問や地域の医療従事者を対象とした講演会や研修等を通して、地域の医療機関と顔の見える関係を築くことで、より一層、信頼関係を高め、患者の獲得に努める。

また、急性期病院として地域医療を支えるため、長期入院患者の転院先となる地域の回復期や慢性期の病院など、後方支援病院の確保や連携強化の取り組みについても着実に進める。

## ◆ 人材確保に向けた取り組み

高齢化社会による医療ニーズの増加などから全国的に看護師が不足する中、本院における医療体制を確保するため、広報ひらかたやホームページ、また有料求人情報誌・サイトへ掲載するとともに、病院見学会の実施や病院実習生を受け入れている学校等へ要望するなど、様々な取組みを通して人員を確保する。

# 経営改善に向けた取り組みの実践

## ◆ DX推進と情報セキュリティ強化

電子カルテシステムにおける令和8年10月の更新に向けて取り組みを進めていますが、今回の更新では、セキュリティ向上の観点からクラウドシステムを導入し、今後の更新費用の削減を図るとともに、国が進める医療DXへの対応として、電子処方箋や電子カルテ情報共有サービスの導入を進める。

## ◆ 「経営戦略タスクフォース」の実践力強化

各副院長や事務局長をメンバーとする経営層直下組織である経営戦略タスクフォースの実践力強化のため、経営基盤強化担当参事をリーダーとして課の枠を超えたタスクフォース専用の事務局体制を構築し、スピード感を持って課題解決に取り組む。

## ◆ 全診療科と経営層との面談の実施

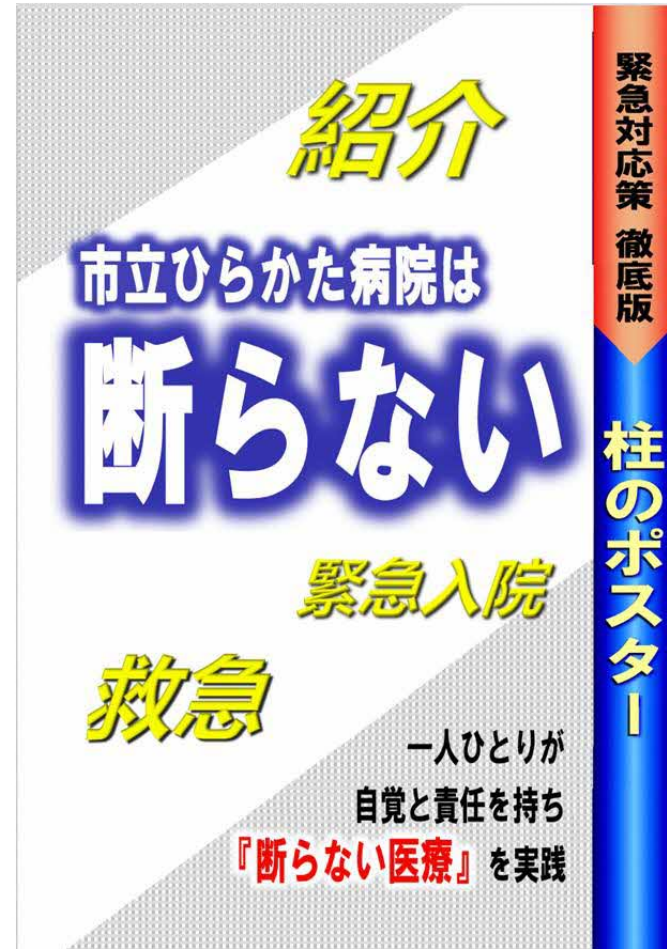
各診療科の分析データを共有し、収益増やコスト削減につなげる取り組みについての面談を実施。医療現場の実情を経営層が詳細に把握し、効果的な経営改善策の検討を図る。

# 「柱のポスター」による継続的な周知啓発

職員それぞれが常に病院の目標を意識し、組織一丸となって取り組むため、平成29年度から実施中。

令和6年度には緊急対応策として「断らない医療」の実践を大きく打ち出したものを掲示しているほか、令和7年度には、更に「経営難」というキーワードを敢えて使用し、経営改善の必要性を職員に強く訴えかける内容としている。

患者の目に触れず、執務室内や更衣室など職員のみが見られる場所の至る所に掲示することで、職員への継続的な周知啓発を図っている。



▲令和6年度 緊急版



▲令和7年度 新ポスター

# その他の重点的な取り組み

## ◆患者サービスの向上

人間ドック予約や診療予約の変更について、WEBによる受付を可能とするほか、患者アンケートを継続実施し、回答内容について院内で検討し、サービス向上に努める。

## ◆情報・魅力の発信

病院ホームページや医療機関向け機関紙「かわせみ」の活用のほか、市民向け情報発信の新たな手法を検討する。SNSで病院の魅力を広く発信し、地域から信頼され、選ばれる病院を目指す。

## ◆やりがいのある職場環境の醸成と働き方改革の推進

「医療従事者の負担軽減及び処遇改善に資する計画」により、引き続き医師や看護師が働きやすい職場環境の充実を図る。職種ごとの研修やハラスメント研修を実施し、誰もが働きやすい職場風土の醸成を図る。